

選択肢別回答数

2012年03月11日 実施

裁判所一般職

教養択一試験

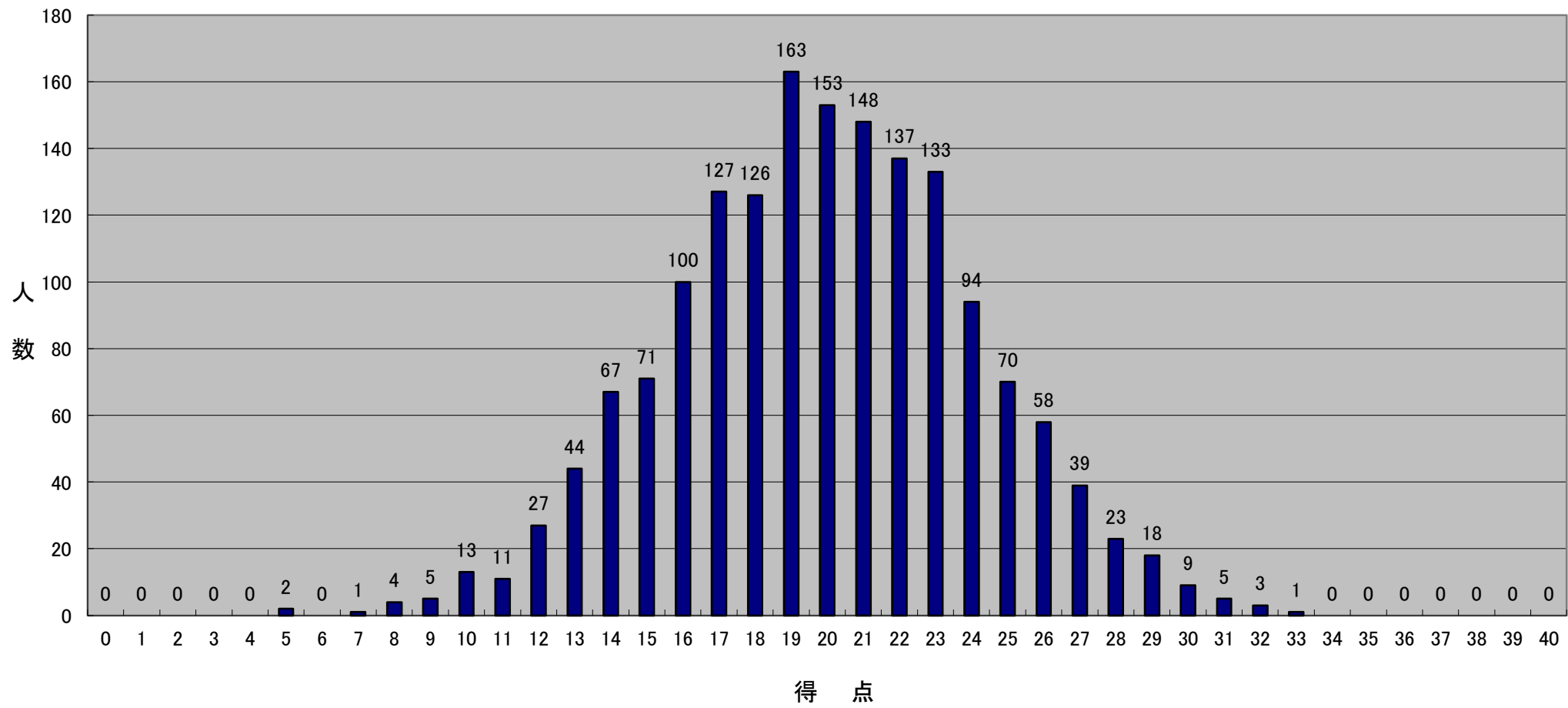
会場+自宅

総受験者数

1652

[illegible][illegible]

得点分布グラフ



上位者ランキング

[illegible]

選択肢別回答数

2012年03月11日 実施

裁判所一般職

專門一試験

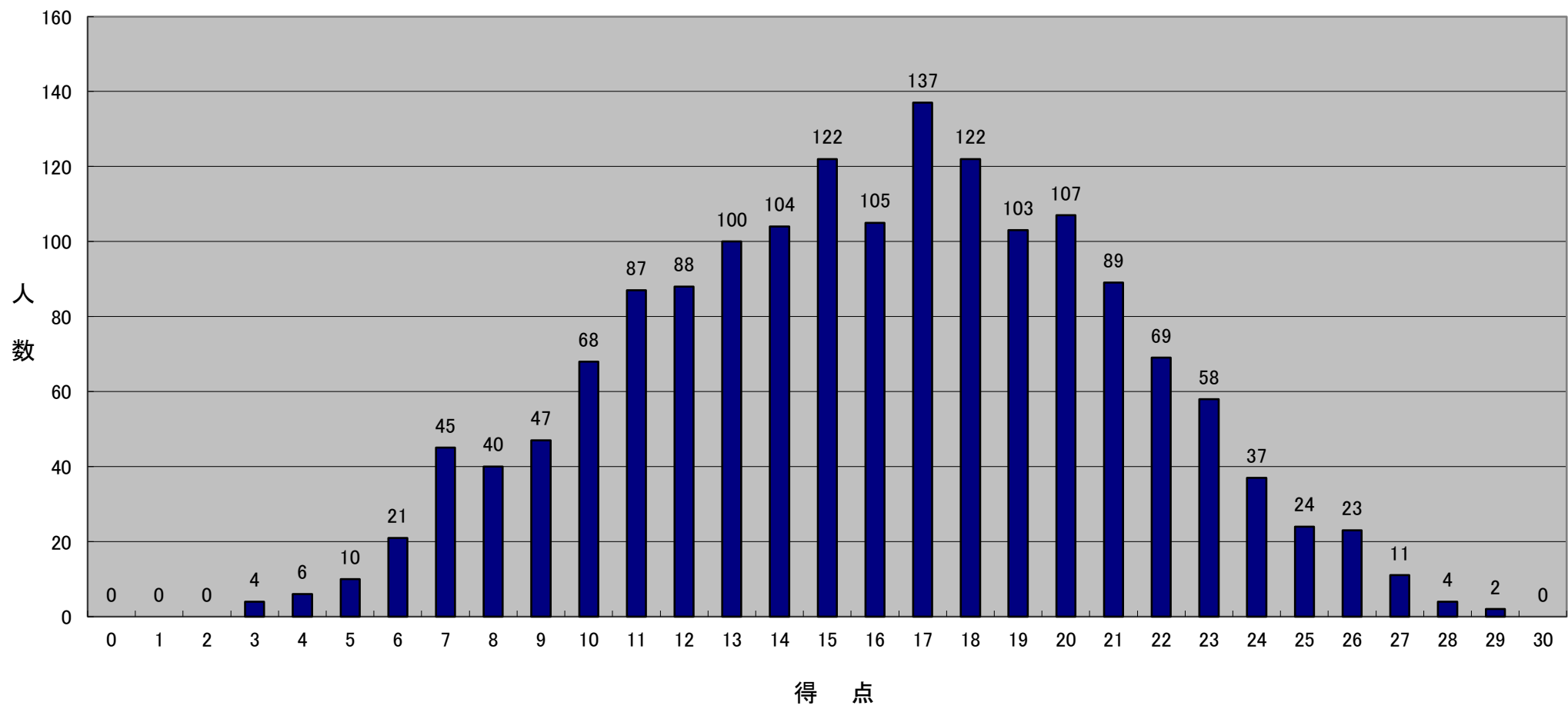
会場+自宅

総受験者数

1633

[illegible][illegible]

得点分布グラフ



上位者ランキング

順位	会員番号	受験番号	得点	受験地
1	0101916706	440003	29	京都
1	9100414127	150152	29	池袋
3	0101645317	480021	28	なんば
3	0101866306	430091	28	京都
3	0104128207	130139	28	池袋
3	0107823412	740017	28	沖縄(中部)
7	0101568617	490101	27	なんば
7	0101742417	490027	27	なんば
7	0101761017	490098	27	なんば
7	0101764106	480001	27	なんば
7	0101927806	420006	27	京都
7	0103008005	070134	27	水道橋
7	0103493824	080060	27	新宿
7	0103989902	460108	27	梅田
7	0104047202	450020	27	梅田
7	0104052002	460061	27	梅田
7	0785016795	470047	27	梅田

TAC公務員講座 第1回公開模試（裁判所一般職） 講評

I. 教養択一試験

- 1. 人文科学** 出題は頻出分野からであるが、通り一辺倒の点取り問題から、かなり掘り下げた知識を問う問題まで難易度の落差が激しいのが裁判所一般職（旧：裁判所事務官Ⅱ種）試験の特徴である。それを踏まえて今回の模試では半分の正解を目標としたい。
- 2. 社会科学** 教養とはいえ、出題内容は専門分野で出題されるレベルのものもある。しかもかなりテーマを掘り下げた内容もみられるため要注意である。また法学では近年の司法制度改革を含めた内容が出題されることもあるので、今回出題したものを含め、準備しておきたい。
- 3. 自然科学** 基本レベルから標準レベルまでを出題した。【No.33】のような、無機物質についての正誤問題は、他の試験種でもよく出題されているので、確実に正答を得たい。また、【No.34】のように、長日植物、短日植物は特徴だけでなく、代表的な植物名も知っておいてもらいたい。4問中3問以上は正答を得たい。
- 4. 文章理解** 標準的な文章問題である。ただし、小説の出題がみられるのが裁判所一般職試験の特徴である。今回のような空欄補充問題だけでなく、文中で用いられる慣用表現について問われることが多いので、国語知識も身に付けておきたい。英文は時事英文が特に得点しやすい。英語が苦手な人でも選択肢を読むことでどのような文章か当たりを付け、少しでも読んでみようとするのが大切だ。
- 5. 数的処理** 裁判所一般職では、去年まで時間のかかる問題が多く出題されていた。今年から試験時間が30分増加することから、その傾向はますます強くなることが予想される。特に、ありうるものを書き出して解かせる問題や、他の試験種ではあまり見ない出題形式の問題には注意が必要である。今回の模試では、【No.23】（数量推理）、【No.32】（渡河問題）、【No.33】（場合の数）、【No.37】（確率）、【No.40】（資料解釈・式変形）などが時間のかかる問題となっているので、ただ解けるようにするだけでなく、時間短縮が可能かどうかまで踏み込んで復習してもらいたい。また、【No.25】、【No.36】（いずれも命題）は、裁判所一般職が好んで出題する分野である。どちらの問題も確実に得点できるようにしてもらいたい。以上を考慮すると、19問中13問は正解できれば、現時点では十分といえるだろう。

II. 教養論文試験

教養論文は社会事情にまつわる事柄が出題されるため、ある程度の時事を心得ておく必要がある。特に裁判所一般職の最近の試験は、若者の生活に関わることが出題されているので、日頃から漫然と報道等を眺めるのではなく、何故問題が生じるのか、今後どのような対策が求められるのか、自分にも関わるものとして具体的に考えておくとうい。

III. 専門択一試験

- 1. 法律系** 裁判所一般職試験は平成 17 年から、出題形式の多様化・難易度の上昇が著しい。平成 17 年以降は旧司法試験の短答試験をベースにしたと思われる出題がみられるようになっている。今年の本試験も従来の傾向と同様と思われる。そこで、今回の模試でも判例をベースにした穴埋め問題【No.4】、見解問題【No.7, No.11, No.14, No.22, No.24】等近時の本試験の形式に合わせている。今回の模試を通じて問題の出題形式にも慣れるようにしてほしい。まず、**憲法人権**については基本判例の学習がポイントになる。そして基本判例に関しては判例の結論だけでなく結論に至る理由付けまで正確に押さえること。そして、近時の最新判例も問われる傾向にある。その意味で【No.1】の国籍法違憲判決（肢A）、【No.3】の君が代伴奏拒否訴訟（肢4）は要注意である。統治に関しては基本条文をおさえること。独立委員会に関する見解問題【No.5】及び予算に関する見解問題【No.7】については通説的見解を押さえること。見解問題では軸となる判例・通説的見解の理解がポイントだからである。次に、**民法**については単純正誤問題についても具体的設例をベースに出題されることが多くなっている。また、見解問題、比較問題も問われる傾向にある。その意味で即時取得に関する見解問題【No.11】、受領遅滞に関する見解問題【No.14】、連帯債務と連帯保証に関する比較問題【No.16】等は再度確認してほしい。民法は判例の準則をベースに出題されることも多いので、無権代理と相続に関する【No.9】、取得時効に関する【No.10】、債権譲渡に関する【No.17】等については判例の準則を再度確認しておくこと。さらに**刑法**は法律3科目の中で、一定の事務処理が要求される。基本的知識を前提にした見解問題が最も作成しやすい科目だからである。また、若手裁判官が問題の作成者と推測され、旧司法試験の択一試験が全般的に参考にされていると思われる。その意味で緊急避難の法的性格に関する見解問題である【No.22】、中止犯の任意性に関する見解問題である【No.23】、抽象的事実の錯誤に関する見解問題である【No.24】、犯人隠避罪の教唆犯に関する見解問題である【No.30】等については要注意である。刑法も他の法律科目と同様に判例がベースにされることも多い。その意味で業務妨害罪に関する【No.27】、私文書偽造罪に関する【No.28】については今回問われた判例を再度確認してほしい。最後に、今回の模試全体を通じて各科目に対する時間配分、特に刑法については効率的解き方（図表を作る、肢から検討する、事例の分析等）を学んでほしい。
- 2. 経済系** 裁判所一般職の経済原論は、概ね平均点が6点前後であり、問題の質は基本レベルから応用レベルまで幅広く出題される。傾向的には2～3問応用レベルもしくは計算が煩雑な問題が出題されるが、残りの7～8問は基本レベルの問題であるので、その問題でどれだけケアレスミスを防げるかが勝負の鍵である。本模試では、【No.36】のスルツキー分解の計算問題、【No.40】の最適労働供給の応用問題が応用論点であり、その他は基本論点と言えよう。基本事項の確認をして本試験に臨みたい。

IV. 専門論文試験

まず、読みやすさのために答案の形式面につきナンバリング・段落分けを行う必要がある。意外と実行できていない答案もある。裁判所一般職の本試験についても基本的ないわゆる一行問題の出題が予想される。平成 22 年度が裁判の公開に関する出題、平成 23 年度が法律上の争訟に関する問題と連続して司法権からの出題であったので、今年度は人権からの出題が予想される。近時、取材源の秘匿の自由に関して判例に動きがあるので、取材の自由にからめてきてみた。問題文に指示があるので、指示に従って論述する必要がある。特に知る権利、報道の自由、取材の自由の三者の関係をまず明確に整理して論述すること。そのうえで取材源の秘匿について言及することが望ましい。取材源の秘匿はこの問題を機会に整理するとよいだろう。

以上

平成24年 3月10日(土)～12日(月)実施

◆ TAC公務員講座 第1回公開模試 結果データ ◆

【裁判所一般職】

	平均点	受験者数	科目	問題番号	科目平均点	科目選択率
教養択一	19.9点	1,652名	人文科学	1～5	1.3点	必須
			社会科学	6～8	1.6点	必須
			自然科学	9～13	2.2点	必須
			文章理解	14～21	4.9点	必須
			数的処理	22～40	9.8点	必須
専門択一	16.0点	1,633名	憲法	1～7	4.5点	必須
			民法	8～20	7.6点	必須
			刑法	21～30	4.7点	35.27%
			経済理論	31～40	3.5点	65.89%
専門論文	※平均点は 算出しておりません。	1,293名	—	—	—	—
教養論文	※平均点は 算出しておりません。	1,442名	—	—	—	—
総合成績	35.55点	1,660名	—	—	—	—

※ 本表の総合成績の平均点は、教養択一と専門択一の合計点で平均を算出しております。